

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年2月1日

Maps to the Future

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 2023年3月期 第3四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益の増減要因
- 4) 事業別売上高の推移
- 5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 6) 株主還元

1) 決算概要

2023年3月期第3四半期 決算のポイント 前年同期比 【増収 減益】

売上高

- ・ オートモーティブ関連において自動車生産調整の影響等によるカーナビ用データ販売の減少が継続
- ・ IoT関連やマーケティングソリューション関連において受託案件等が増加

費用 ・ 損益

- ・ 売上高構成変化による売上原価、位置情報の精度向上に係る地図データベース整備費用、及び、社会経済活動の正常化やエネルギー・原材料価格の高騰などにより営業費用が増加
- ・ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は2期ぶりの減益

(金額単位:百万円)

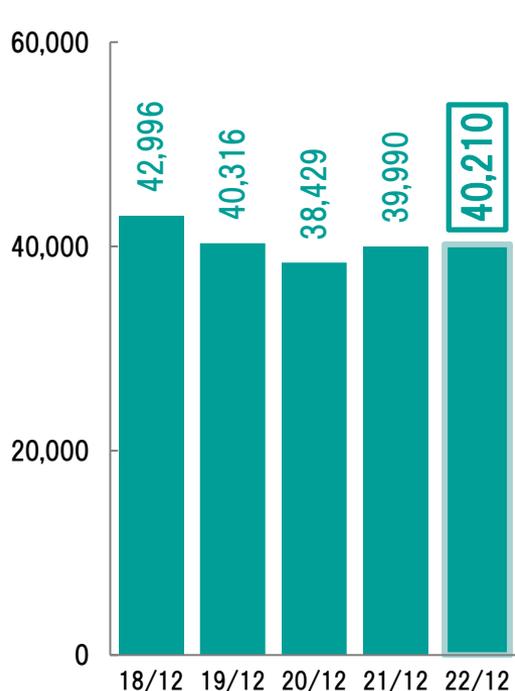
	2022年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	前年同期比	
			増減率(%)	
売上高	39,990	40,210	220	0.6
営業費用	39,928	41,062	1,133	2.8
営業利益	61	△851	△913	—
営業利益率	0.2%	△2.1%	△2.3pt	
経常利益	321	△643	△965	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,067	180	△1,887	△91.3

【2022年3月期3Q】 投資有価証券売却益等を特別利益へ計上

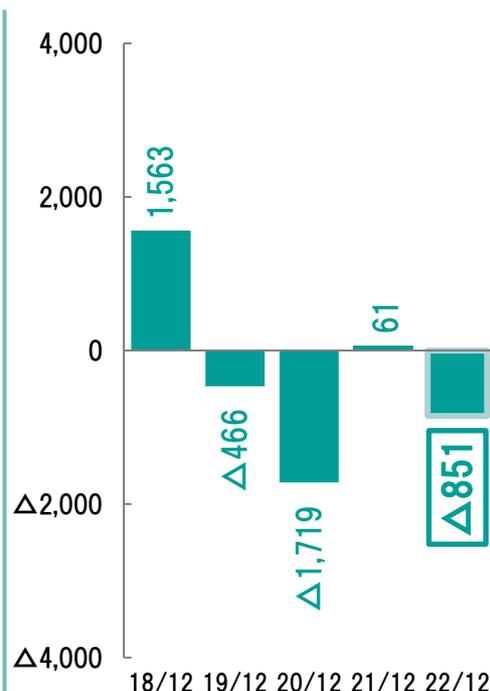
固定資産売却益や子会社出資金売却益等を特別利益へ計上

2) 売上高・利益の推移

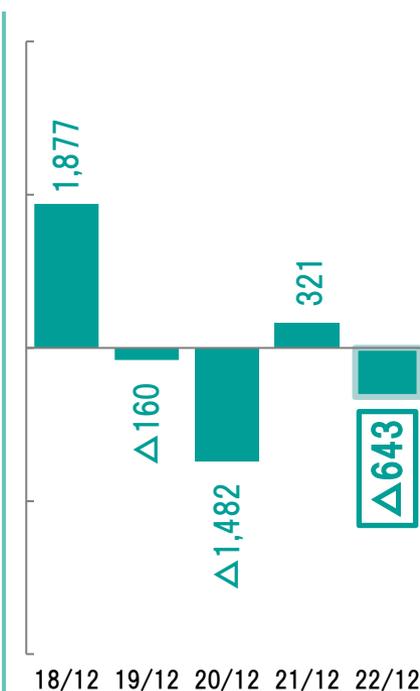
(金額単位:百万円)



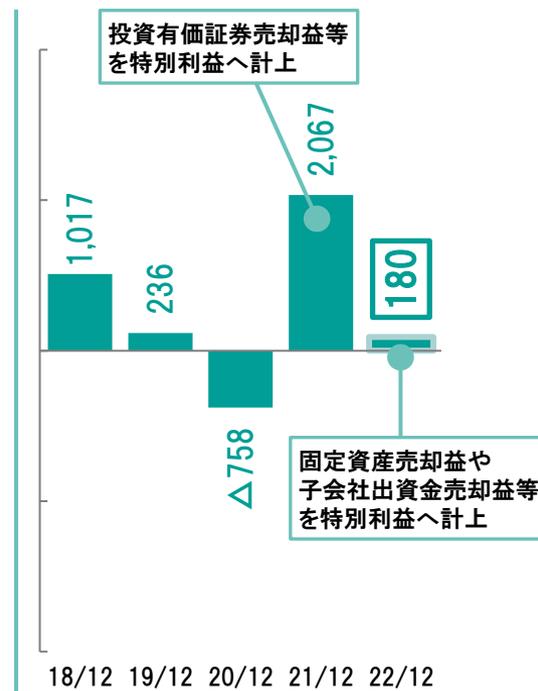
売上高



営業利益



経常利益



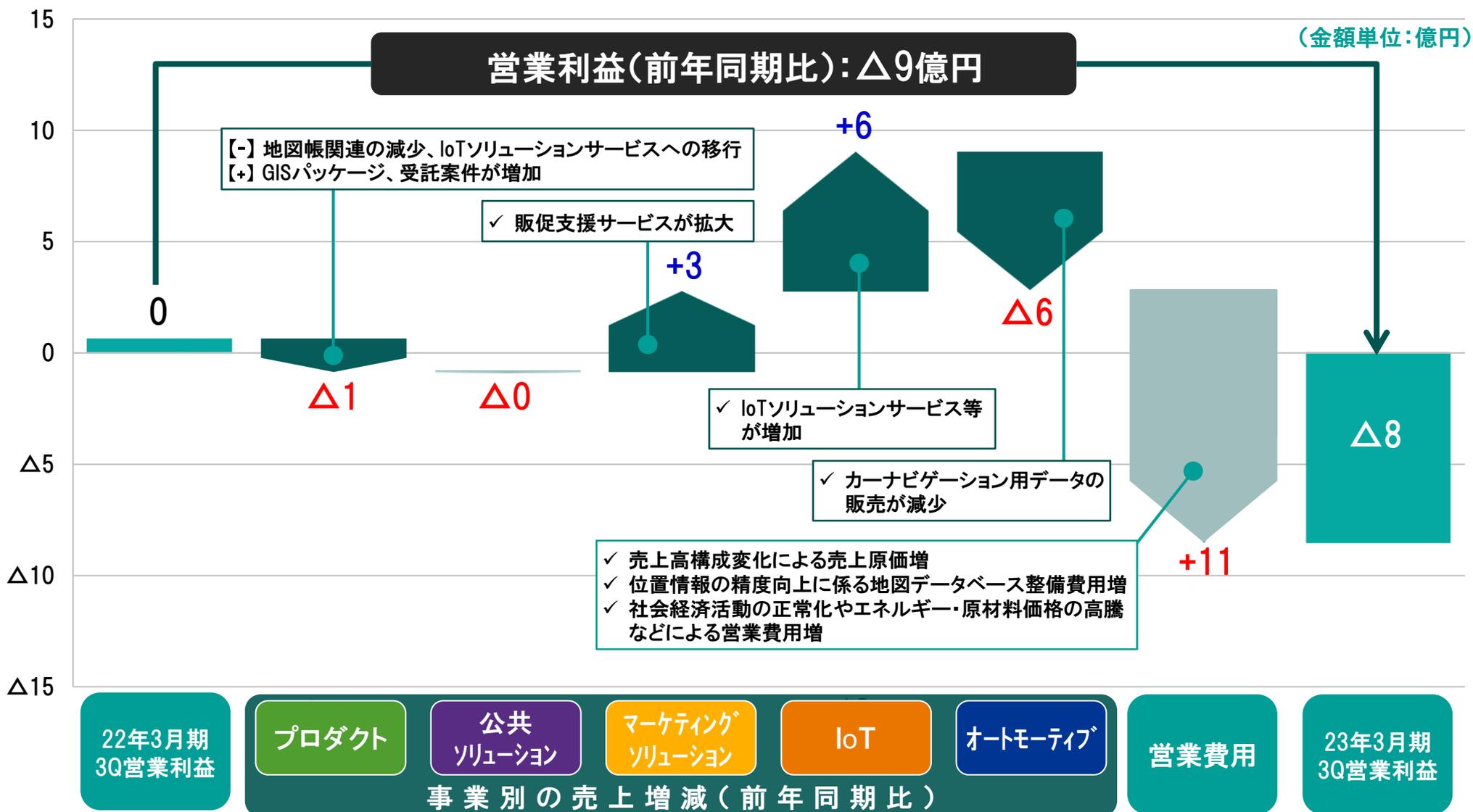
親会社株主に帰属する
四半期純利益

2期連続増収

2期ぶり減益

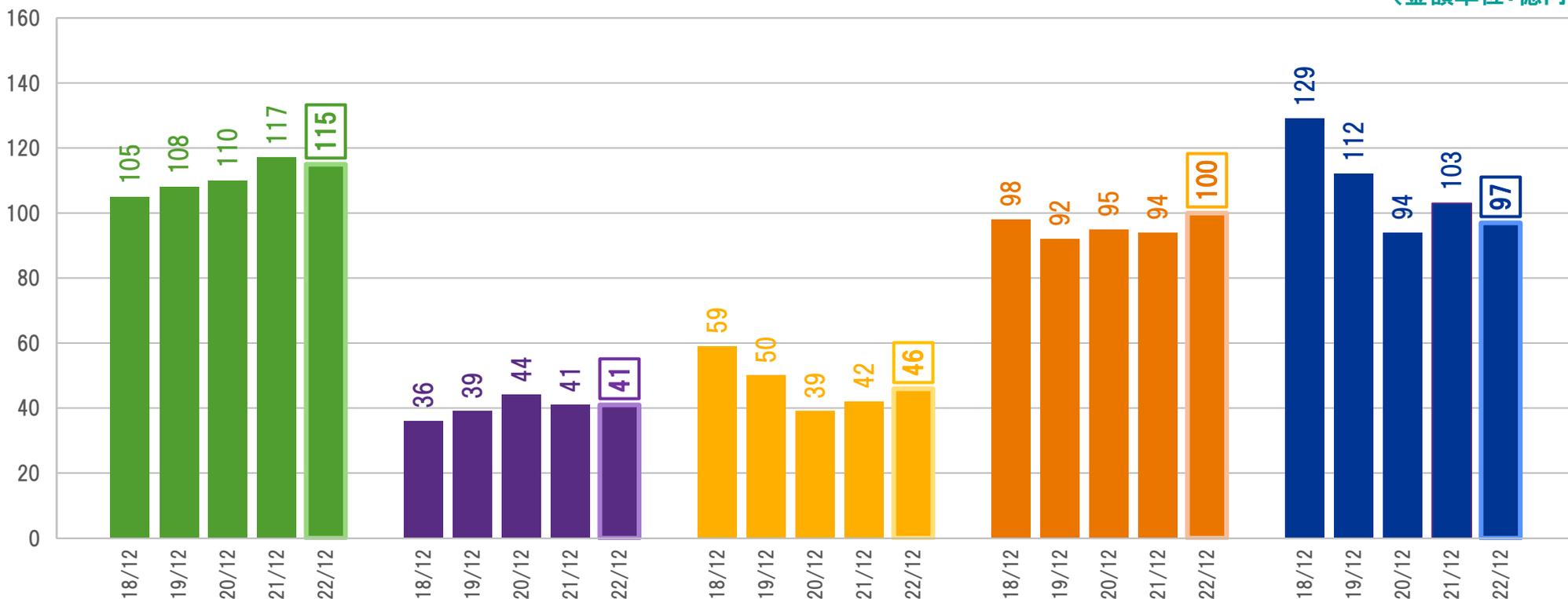
※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していません。(次ページ以降同様)

3) 営業利益の増減要因



4) 事業別売上高の推移

(金額単位: 億円)



前年同期比

プロダクト

△1億円
(△1.2%)

公共ソリューション

△0億円
(△0.1%)

マーケティングソリューション

+3億円
(+8.4%)

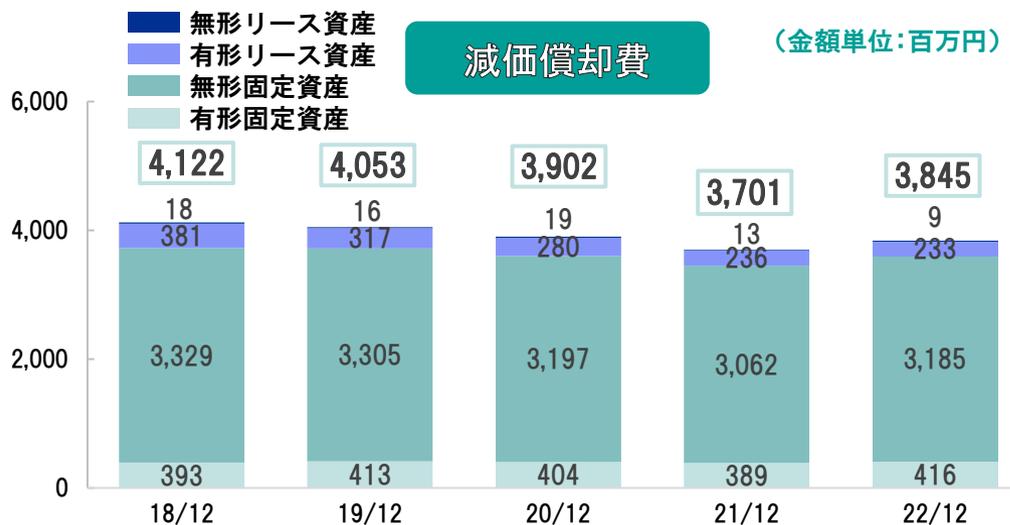
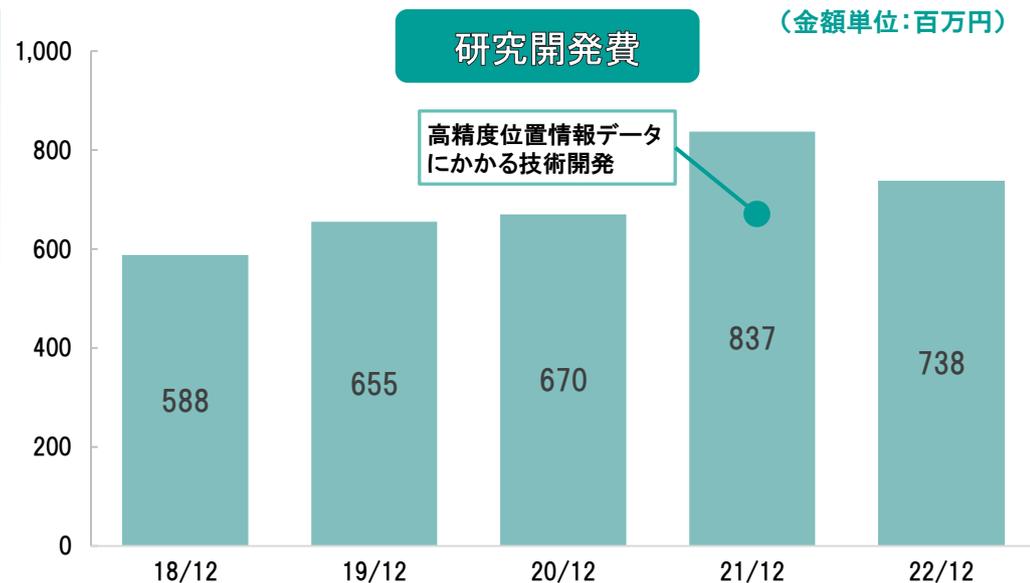
IoT

+6億円
(+6.6%)

オートモーティブ

△6億円
(△6.0%)

5) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

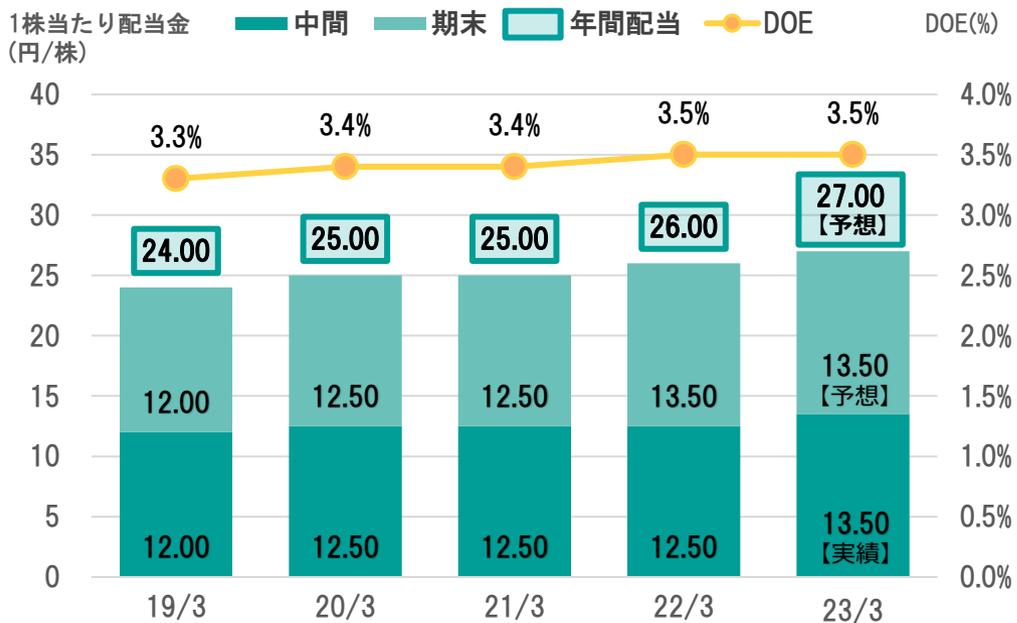


6) 株主還元

配 当

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施

連結株主資本配当率(DOE) 3%以上を目標



自己株式取得

資本効率の維持・向上に資する株主還元策として機動的に実施

資本政策、株価、市場環境、成長投資の機会等を考慮し決定

	2022年7月28日 取締役会決議 (取得実績)	2023年1月31日 取締役会決議 (取得予定)
期間	2022年8月1日～ 2022年8月31日	2023年2月1日～ 2023年2月28日
株数	461,200株	上限 70万株
金額	433,949,000円	上限 7億円

2. Appendix

- 1) 通期業績予想
- 2) 売上高・利益の推移（通期）
- 3) 事業別売上高の推移（通期）
- 4) 四半期売上高構成比率の推移
- 5) 主なニュースリリース・お知らせ

2022年4月28日公表の業績予想から変更なし

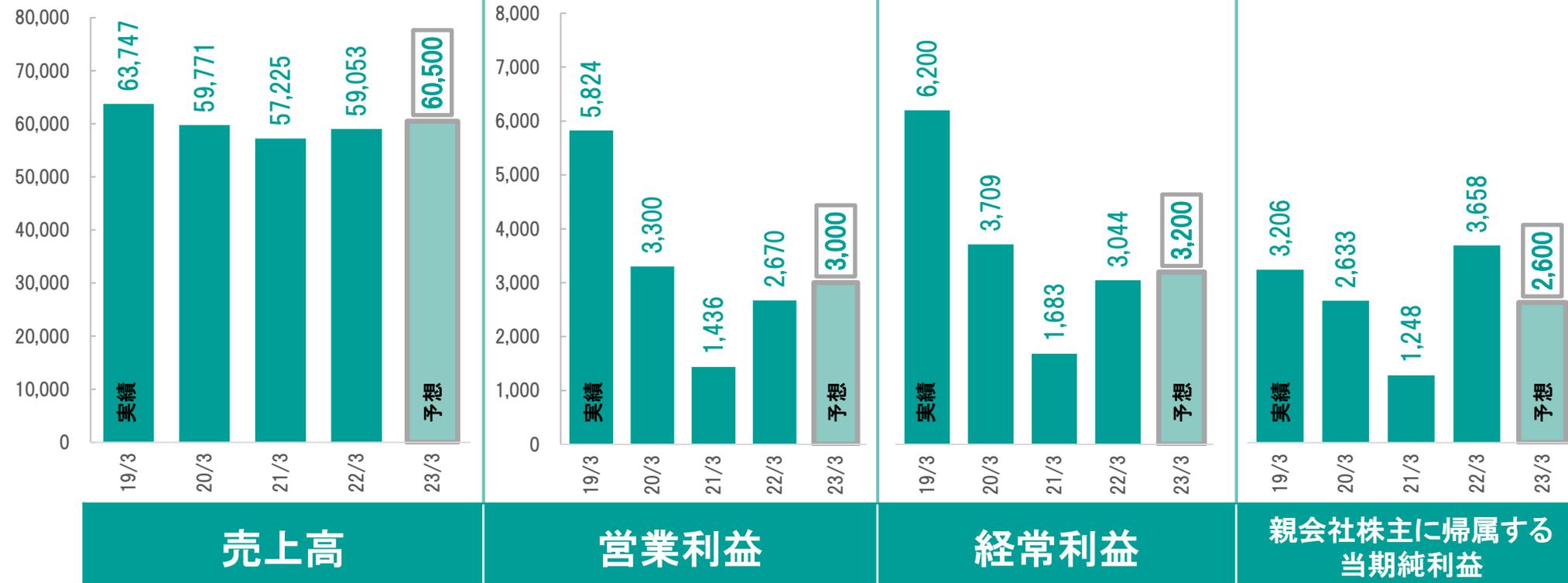
世界的な半導体供給不足、上海のロックダウン、円安等の複合的要因による自動車の生産調整など、
当社グループを取り巻く環境に不確定な要素が多いことから、2022年4月28日公表の業績予想を据え置き

(金額単位:百万円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比	
				増減率(%)
売上高	59,053	60,500	1,446	2.4
営業費用	56,382	57,500	1,117	2.0
営業利益	2,670	3,000	329	12.3
営業利益率	4.5%	5.0%	0.5pt	
経常利益	3,044	3,200	155	5.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,658	2,600	△1,058	△28.9

2) 売上高・利益の推移（通期）

（金額単位：百万円）



2期連続増収

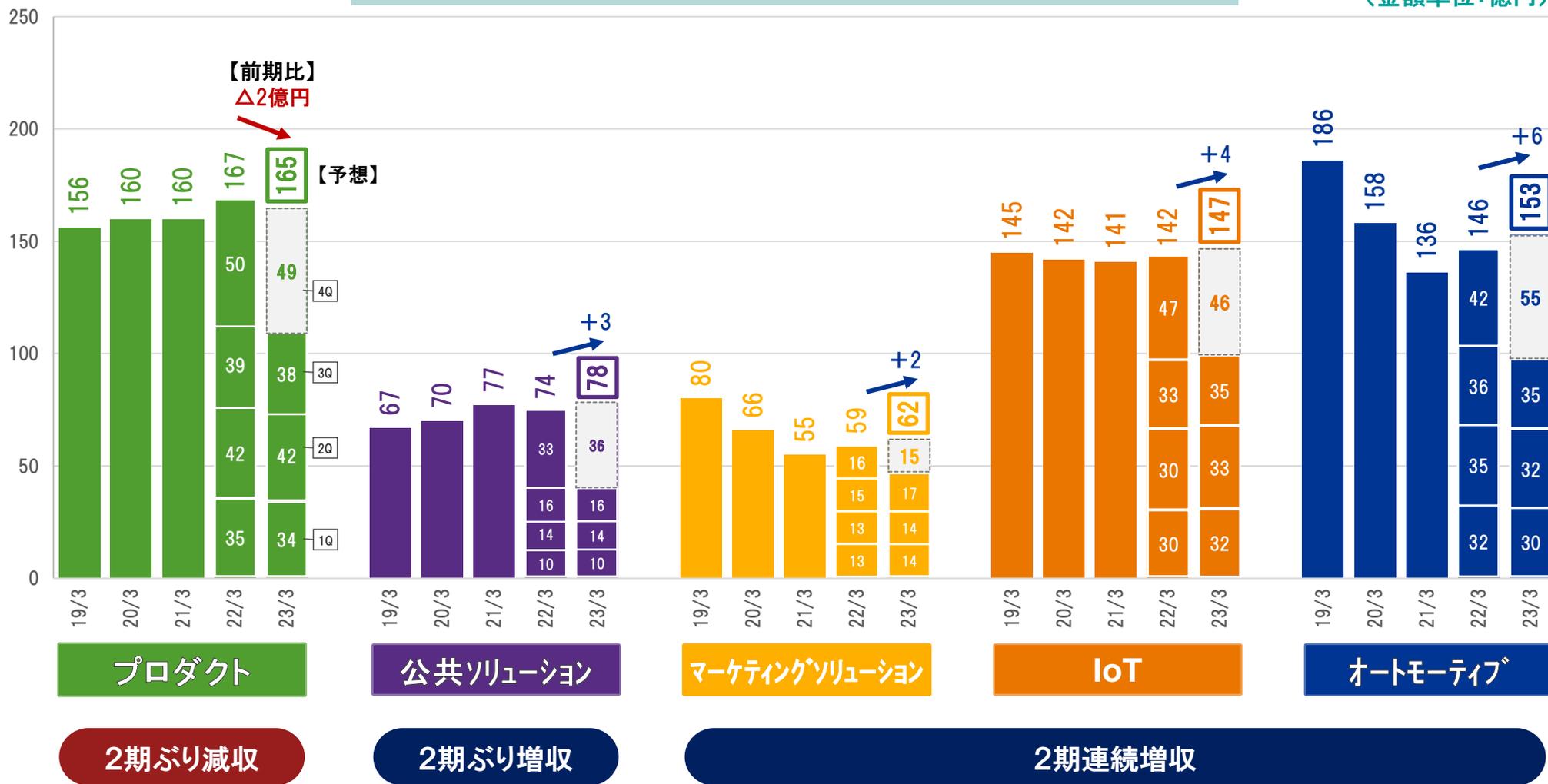
2期連続増益

2期ぶり減益

3) 事業別売上高の推移 (通期)

事業別売上高も業績予想を据え置き

(金額単位:億円)



4) 四半期売上高構成比率の推移

Point 当社グループの業績は季節的変動が著しく、第4四半期に売上高が集中する傾向



リリース日	タイトル	事業区分
2022年 10月3日	JA共済連が提供する「JA共済アプリ」の新機能『防災アラートメール』にゼンリンデータコム配信システムが採用	IoT
10月6日	観光型MaaSの実証実験にて提供中の観光情報Webサイト&スマートフォンアプリ「STLOCAL」に佐世保・西九州エリアを追加	IoT
10月11日	2023年3月1日から「ゼンリン地図ナビ」の提供を開始 ～現在ドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」を引継ぎ～	IoT
10月25日	緊急物資輸送に関する連携協定を秩父市と締結 ～秩父市中津川地内でドローンを活用した緊急物資輸送の早期実現を目指す～	IoT
10月25日	多店舗型ビジネス戦略を支援するクラウドサービス「ArmBox」10月26日より提供開始	MS
11月21日	「誰でもその日から配達」を実現する配達管理サービス Delivery Support Systemの販売を本日より開始	IoT
12月20日	埼玉県秩父市の山間地域における実証実験を実施 遠隔運用によるドローン配送とオンライン栄養指導・デジタル医療機器の有用性を検証	IoT
2023年 1月11日	NTTデータ・ゼンリン・アルプスアルパインが交通や地域社会課題の解決に向けて協業 2023年4月より、沖縄県にてドライブレコーダーを活用した実証実験を実施	AM
1月12日	秩父市と横瀬町、デジタル田園都市構想の関連事業を開始 AIデマンドタクシーサービスがリニューアル	IoT
1月18日	-ゼンリン・V・ファーレン長崎・長崎ヴェルカ・十八親和銀行- 長崎県の観光周遊の活性化を目指して「ながさきのまち魅力発信連携協定」を締結	IoT
1月26日	秩父市中津川地内でStarlinkを活用したドローン定期配送を開始 ～地域が“安堵”できる環境構築に向け8者が協力、「&プロジェクト」としてスタート～	IoT

※詳細は当社ホームページをご覧ください (<https://www.zenrin.co.jp/information/>)

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IR問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp